

岩木山の中腹にて

日本丸恒例の鱒ヶ沢スキー合宿が2年ぶりに開催された。振り返れば、何と14回目だ。実行委員長は、去年準備万端整えたところで中止を余儀なくされたT2岡本さんが連続で受けてくださった。

1月19日(水)朝も早いので、前日の飲み部は欠席。7時前に羽田空港に集まり

JAL141便で青森へ。

下界もよく見えた。バス

でスキー場に向かうが岩木山がくっきり。ホテル到着、スキー板借用等、三階レストランでランチ。今年の流行りは、ヒラメの漬け丼。1:30よりスキー開始、「使用前」の元気な姿で集合写真。



2本滑ったあと、山路は靴が壊れたので隊を離れて靴だけ借用し、リフトで上。単独行2本目上り中に雪が増え、キャビンから前が全く見えない。降りたら、ふかふか雪。前も見えない。単独行は危険、そろりそろり降りる。3時半すぎ、本隊も戻ってくる。

4:30頃、露天風呂、首から下は暖かく、背中、首は涼しい。顔に粉雪がかかる。湯船で、Oさん、「体洗って、髪洗って、あー、綺麗になったー。」Nさん「心は？」Oさん「・・・」。

コロナ禍につき夕食会場では控えめに飲んで、その後部屋飲み。青森空港で買い込んだ酒、会計幹事提供の与那国島の泡盛等で盛り上がる。

1月20日(木)、7:30朝食。今日も晴天、太陽光がホテルの窓に反射した光が雪面を彩る。9時半集合だったが、待てずに一本滑



る。皆も同じ気持ちだったようで早めに集まった。今日は瓜田さんご夫妻が我々の滑りを撮影してくれる日。嬉しいけど恥ずかしい。皆で登って、西側に滑る。こっちのクワッドは足置きがついているので、足を休ませられる。瓜田さんが先に降りてビデオを構える。そっちに向かって、1人ずつ滑り降りる。



撮られていると思うと緊張するなあ。それを何回も何回も繰り返して、午前の部が終了。

靴を脱いで昼食をいただき、午後の部開始。同じように何回か撮影してくれる。一つでも良いのがあれば、それを切り取って、自慢できるのだが。そして、最後は、後ろ姿も撮ってくれた。後ろ姿も華麗でなきゃいけないのだ。午後の部終了。

露天風呂で体を外から温め、部屋で飲んで中から温め、相撲中継、と思ったら、国会中継が長引いている。このホテルBSが映らず、スキーの話、合唱の話、相撲の話をする。ようやく5時5分、相撲開始。本間さんの解説が素晴らしく面白い。

「遠藤ももうダメだな、CMで稼いでハングリーじゃない。」「御嶽海も今日負けるようじゃ、大関なんて無理無理」と言っていると、本当にころり。「照ノ富士、気合が入ってないなあ」と言っていると、照ノ富士ばかり。しかも膝を打ったが、足を引きずってる。他にも、名古屋場所の向こう正面の綺麗どころの話、国技館は土俵の外のスペースが狭いので落ちやすく危ない、等々。

相撲中継終了と同時に瓜田さん登場、昼間の撮影から、ボケたシーンなどを削除して、メモリーを持参してくれる。部屋のTVに繋いで見ながら、佐藤プロの助言を受ける。この教え、明日は生かせるだろうか。終了後すぐに夕食、解散して各部屋に戻る。

1月21日(金)、今日も天気が良い。三日連続の晴天なんて、奇跡だと地元の皆さんも。9時にはみんな揃っている。今日も瓜田さんご夫妻が来てくださった。申し訳ないことだ。第一クワッドを降りたところからは、津軽半島のみならず、北海道白神岬が見え、沖合の小島+大ヒヤク島も見えている。集合写真。



今日は、各自、昨日の注意事項を反芻しながら、自分なりに滑る。広い斜面、圧雪済み、ほぼ借り切り状態。長い斜面をあまり止まらずに気持ちよく滑る。12時頃に滑り終え、瓜田ご夫妻ともお別れの時間。そこで無謀にもお礼の気持ちを込めて「上を向いて歩こう」を歌う。今回のスキー合宿のパート別人数は、上から0-3-3-2なので、野本さんに急遽トップを歌ってもらおう。打合せもな

くぶっつけ本番で、あんまり揃ってなかったが、喜んでくれたみたいで助かった。

レンタルを返し、宅急便を送り、荷物を片付け、風呂に入り、大昼食。きょうは贅沢にも海鮮丼。バス待ちは、ほとんどが居眠り。バスも少し早く出発して、スイスイと。

空港で、リンゴジュースを飲んで、これを書きました。誰の人徳が良いのか謎でした



が、好天、好コンディション、誰も怪我せず無事に羽田に向かおうとしています。めでたし、めでたし。

参加者は、岡本(事務)、新木(会計)、佐藤(スキー指導)、本間、野本、鶴野、西山 w/小濱、山路でした。

(1/21 17時、山路永司)

(1/22 思い出しながら追記)

案ずるより産むが易し

Hさんは前回、少し痛い目に遭ったので、今回は滑ってもちょっとだけと決めてレンタルも2日目までとしていたが、延長した。やれば何とかなるのでした。

ちょっと残念だったこと

ゴンドラが故障で、最も高い地点に行くことができず滑走コースも限られてしまった。しかし、そのお詫びに、初日ドリンク1杯無料となって会計が助かり、最終日の海鮮丼に繋がった。

瓜田さん、ありがとうございます

佐藤さんの青森の拠点、五所川原市にお住まいの瓜田さんご夫妻、ビデオ撮影等々ありがとうございました。下で待ち構えて撮るだけでなく、動きながらの撮影、追い抜きながらの撮影。前から、後ろから、横から撮って

いただいたお蔭で、直すべきところがより鮮明になりました。そして仲良しのお二人、日本丸の演奏会にも何度もお越しいただいています。



ペンギンのお散歩

天気も雪も素晴らしいのに、ゲレンデはガラガラだった。下の方では、小学生や幼稚園児が練習をしていた。スキーを持って歩く園児たちは、まるでペンギン。



滑れなくとも

腰を痛めた新木さん、滑れないのに来て下さった。分厚い本2冊抱えて。それなりに楽しめたようです。会計も見事で、集金した分をほぼきっちり消費。小濱さんも滑りませんでしたが、お楽しみいただけたかな。

山の天気

三日連続の好天と書きましたが、午後はそうも行きません。少しは降ってきます。粉雪の中を滑り降りる日本丸の勇士たち。ホウ若人よ、若人よ。



「このように滑って下さい。」